

## 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
TEL 06-6765-8904  
FAX 06-6765-8905

# 教員の「定額働かせ放題」を 継続する「政府・給特法改定案」

## 世論をひろげ、政府案を廃案に追い込み、新たな改正案を

### 問題だらけの「改定案」その1

教員の「定額働かせ放題」の仕組みを継続する公立教員給与特別措置法（給特法）改定案（以下、「改定案」）が4月10日、衆院本会議で審議入りしました。

全日本教職員組合（全教）は、緊急街頭宣伝を行い「政府の改定案では学校がもたない」「教職員と子どもを苦しめる政府案を廃案に追い込もう」と訴えました。また、文科省への要請行動も実施しています。

「改定案」は、「定額働かせ放題」を継続し、長時間労働を抑える効果はありません。残業代制度は、割増賃金支給が前提であり、長時間労働を抑制する機能が与えられていません。しかし、給特法は

### 問題だらけの「改定案」その2

「改定案」は、「教職調整額」を4%～10%に引き上げることによって、平均1.5%支給されている義務教育等教員特別手当を一律0.5%引き下げ、

### 問題だらけの「改定案」その3

「改定案」は、教員の処遇改善を口実に「主務教諭」という新たな職を新設し、責任の違いや賃金の階層構造を持ち込もうとしています。人事評価の結果を昇進や昇給に反映させることで学校現場の階層化が進めば、管

### 問題だらけの「改定案」は廃案、 新たな改正案を！

教員の長時間労働は異常な状態です。政府の調査で、小中学校の教員は平均で連日11時間半働き、土日の出勤も明らかになりました。精神疾患による病休者は7000人を超え、過労死まで起



4.18 全教主催  
「給特法改定案に反対する国会前  
アクション」のようす

危険な状況の背景にある教員の長時間労働の是正は待たないです。国、文部科学省がやるべきは、教職員の定数を抜本的に増やし、年間授業時数を減らすなど業務量の削減です。

### 問題だらけの「改定案」

を廃案にし、長時間過密労働の解消を実現できる改正世論を大きく広げ

### 書記局の つうしん

石破政権は、日本学術会議を法人化する法案の今月中での審議入りを急ぐようとしています。法案は、学術会議を国の機関から切り離して特殊法人化し、首相が任命する「監事」「評価委員会」などを新設。政府から独立した科学者の代表機関である学術会議を政府の監督下に置くとするものです。

広瀬清吾・学術会議元会長は、形式的な会員の任命権しか持たなかった首相が、法案によって「全体を監督する地位を与えられる」と危惧を表明しました。

2020年に6人の推薦候補が、菅義偉首相（当時）によって学術会議会員への任命を拒否された問題について、任命拒否の理由の開示を求める弁護団の事務局長を務める米倉洋子弁護士は、「安倍政権は、憲法解釈変更のために内閣法制局長官を恣意的に交代させ、内閣人事局をつくって高級官僚の人事を独占し、日銀総裁を代え、NHK会長人事に介入してきました。人事の根幹を握り、都合の良い体制づくって強権を振るってきた。その延長線上にあるのが任命拒否であり、今度の法案の動きだ」と語ります。

2017年に学術会議は、学問の「軍事的安全保障」への動員に批判的な声明をだしました。学問を軍事に動員する動きによって、学術会議が障害物になったことが任命拒否や選考過程への介入する背景にあると米倉弁護士は指摘します。

科学が戦争遂行に利用された痛みの歴史の反省に立って創設され、時の政治権力から独立した立場で科学的根拠に基づき政策提言を政府に行うことが、これまで学術会議が果たしてきた役割です。学問の自由を脅かすこの法案を廃案に追い込むために、法案反対のオンライン署名が呼びかけられています。

# 「自分で決める」ことを大切に

## 青年たちの学びを支える福祉型専攻科

3月8日、卒後の学びの場・専攻科を実現する会と大障教との共催で「卒後の学びの場・専攻科について共に考える研修会」が大阪市立社会福祉センターでおこなわれました。

最初に「学びの場」の概要について、ぽぽろスクエア所長の乙須直子さんから

の報告があり、自立支援事業を利用した福祉型専攻科の制度のことやぽぽろスクエアのカリキュラムや時間割などが紹介されました。

その中でも青年期の移行期を支援するための必須授業としての「ここからからの学習」と「グッドライフ（進路）」のこと、自分の

望む暮らしや生き方について主体的に考え選んで生きられるように「自分で決める」ことを大切にしていることなどが強く心に残りました。



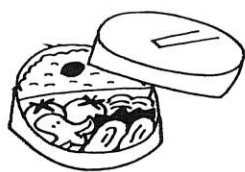
次に「学びの場の実践報告」として、シユレオーテの西部明香里さんから、広島での全国専攻科（特別ニーズ教育）研究集会に参加したときの報告がありました。

青年たちが現地で何を食べてるか、パソコンやガイドブックで調べながら、ホテルからの距離や値段、お店の様子などを考えて話し合い、店を予約するという取り組みの様子が詳しく紹介され、日常的な経験を積むことの大切さを考えさせられました。現地でもいろいろなできごとと一緒に経験し乗り越えていく様子から、仲間とともに成長できる学びの

## 集まれば元気！分会のとりくみ

このコーナーでは、年間を通じて各分会のとりくみをお知らせします。「うちの分会でもやってみようかな？」というヒントが得られるかも！？今回は、新年度の歓迎のとりくみを行った2つの分会です。今後も、分会で何かとりくみを行った際は、ぜひとも原稿をお寄せください！

守口支援分会では、新年度バタバタの中でもみんなで顔合わせをしたいねと、4月8日に新転任歓迎昼食会をおこないました。大量注文可能のお弁当屋さんへ学校まで配達してもらい、総勢35人でわいわいと食事&交流をもつことができました。



分会からは、「守口支援学校の子どものための教育条件整備、そこで働く私たち教職員の労働条件改善にむけてみんなで力を合わせていきましょう！」と分会長より組合紹介をしました。新転任の先生方からは、趣味や好きな物の紹介等を交えた自己紹介をおこない、緊張の連続の新年度にほっと一息をつける貴重な機会となりました。

新転任のみなさん、今年度1年間どうぞよろしくお願いいたします！

(守口支援分会  
西面 友史)



枚方支援分会では4月9日に顔合わせの分会集会を行いました。今回は、卒業生もお世話になっている、お米の美味しいおにぎり屋さん（福祉事業所）にお弁当を届けてもらいました。新しく分会の仲間入りをされた先生方を迎えて、お互いに自己紹介や新年度の身近な話題、加入の経緯や思いなどを交流しました。



お弁当のあとは、ちょっと甘いもの…ということで、年度末に大教済の職場賞でゲットした、新しいおしゃれトースターでクッキーをリメイクし、使い心地をチェック。予算の都合でひと口サイズのクッキーでしたが（何でも高くなりましたねえ！）、ほかほかの甘いものでほっこりしました。

みんながひと言ずつ話したら「次の会議が始まる〜！」と、あっという間の昼休みでした。今年度も時々こうして集まって、近況や課題を交流していこうと思います。（枚方支援分会 林 陽子）

## なにわの教員採用選考学習会

めざそう!!  
仲間とともに

なにわの  
教員採用  
選考学習会



- 第1回 4月26日(土)
- 第2回 5月10日(土)
- 第3回 6月22日(日)
- 場所 大阪府教育会館  
(たかつガーデン)

面接や模擬授業の練習、面接個票の書き方など

詳細、申し込みは、大阪教職員組合Webサイトへ！

場のことがよくわかりました。

最後に参加していた支援学校教員との交流の場がもたれ、報告についての感想

や支援学校ではどのように取り組んでいるかなど、話で盛り上がりしました。また、福祉型専攻科で学んでいるそれぞれの卒業生の話も出

てきて、卒業後も成長している様子を直接聞くことができました。

一つとして、青年たちの

「学校から社会へ」「子どもから大人へ」の移行期の学びを支える福祉型専攻科について、直接話を聞く貴重な機会となりました。